

# 福島第一原子力発電所 一時保管エリアP排水枡における 全ベータ値の一時的な上昇について（続報 2）

< 参 考 資 料 >  
2021年7月8日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

- 7月5日、一時保管エリアP排水枡における放射能分析結果（6月29日採取分）において、全ベータの値が、前回（5月21日採取分）に比較し、以下の通り、上昇していることを確認しました。なお、7月5日採取分においては、通常の変動の範囲内に戻っていることを確認しています。  
【6月29日採取分】 全ベータ:750Bq/L、セシウム137:21Bq/L  
【7月 5日採取分】 全ベータ:9.8Bq/L、セシウム137:5.8Bq/L
- 当該排水枡において、全ベータの値が一時的に上昇した原因は、現時点で不明ですが、今後、降雨があった日については、サンプリングの頻度を増やす等、当該排水枡周辺エリアを調査し、当該排水枡の全ベータ値が一時的に上昇した原因を調査してまいります。
- 昨日（7月7日）、当該排水枡の全ベータ値が上昇した原因調査のため、一時保管エリアP 1、P 2、およびE 1の近傍を流れる排水溝や排水枡、陳場沢川河口の水を採取し、分析を行ったところ、一時保管エリアP南側排水溝および東側流入地点（上流）の全ベータ値が高いことを確認しました。
  - ・一時保管エリアP南側排水溝：全ベータ930Bq/L、セシウム137:370Bq/L、セシウム134:14Bq/L
  - ・東側流入地点（上流）：全ベータ320Bq/L、セシウム137:21Bq/L、セシウム134:ND
- なお、一時保管エリアP排水枡や陳場沢川河口においては、検出限界値未満であることを確認しています。
- 上記分析結果を踏まえ、同日、一時保管エリアP南側排水溝および東側流入地点（上流）の排水溝の清掃を行うとともに、ゼオライト土嚢の設置作業を実施しております。<2021年7月7日までお知らせ済み>



【ストロンチウム除去材設置後の排水枡（7/5撮影）】



【ゼオライト土嚢設置後の南側排水溝（7/7撮影）】



【ゼオライト土嚢設置後の東側流入地点（7/7撮影）】

## 調査状況および対策の状況について

- 汚染源を特定するため調査として、7月6日に地表面のサーベイを行なったところ、ノッチタンクを設置している地表面において、750 $\mu$ Sv/h（ガンマ+ベータ）が確認されました。昨日（7月7日）、周辺の状況調査を実施したところ、シート養生の代用として当該エリアで使用しているノッチタンク2基の天板のハッチ部蓋が4箇所ずれており、タンク内および天板上に水が溜まっていることを確認しました。
- 本日（7月8日）、天板のハッチ部蓋がずれていたノッチタンク（2基）内の水および同タンク上面の水を採取し、現在分析を実施しております。
- また、ノッチタンク内の内容物については、現在調査を行っておりますが、見える範囲ではフレキシブルコンテナバッグが入っていることを確認しております。
- 天板のハッチ部蓋がずれていたノッチタンク2基については、本日、天板上にシート養生を実施するとともに、ノッチタンク廻りへのゼオライト土嚢の設置を実施しております。
- 引き続き、一時保管エリアP排水柵の全ベータが一時的に上昇した原因を調査するとともに、2028年度までにガレキ類の屋外一時保管を解消し、建屋内保管に移行できるよう減容施設、貯蔵施設の建設を進めてまいります。



【ノッチタンク外観（7月6日撮影）】



【ノッチタンク上部（7月7日撮影）】



【ノッチタンク対策後（7月8日撮影）】

# <参考> 採取地点及び分析結果（7月7日採取）

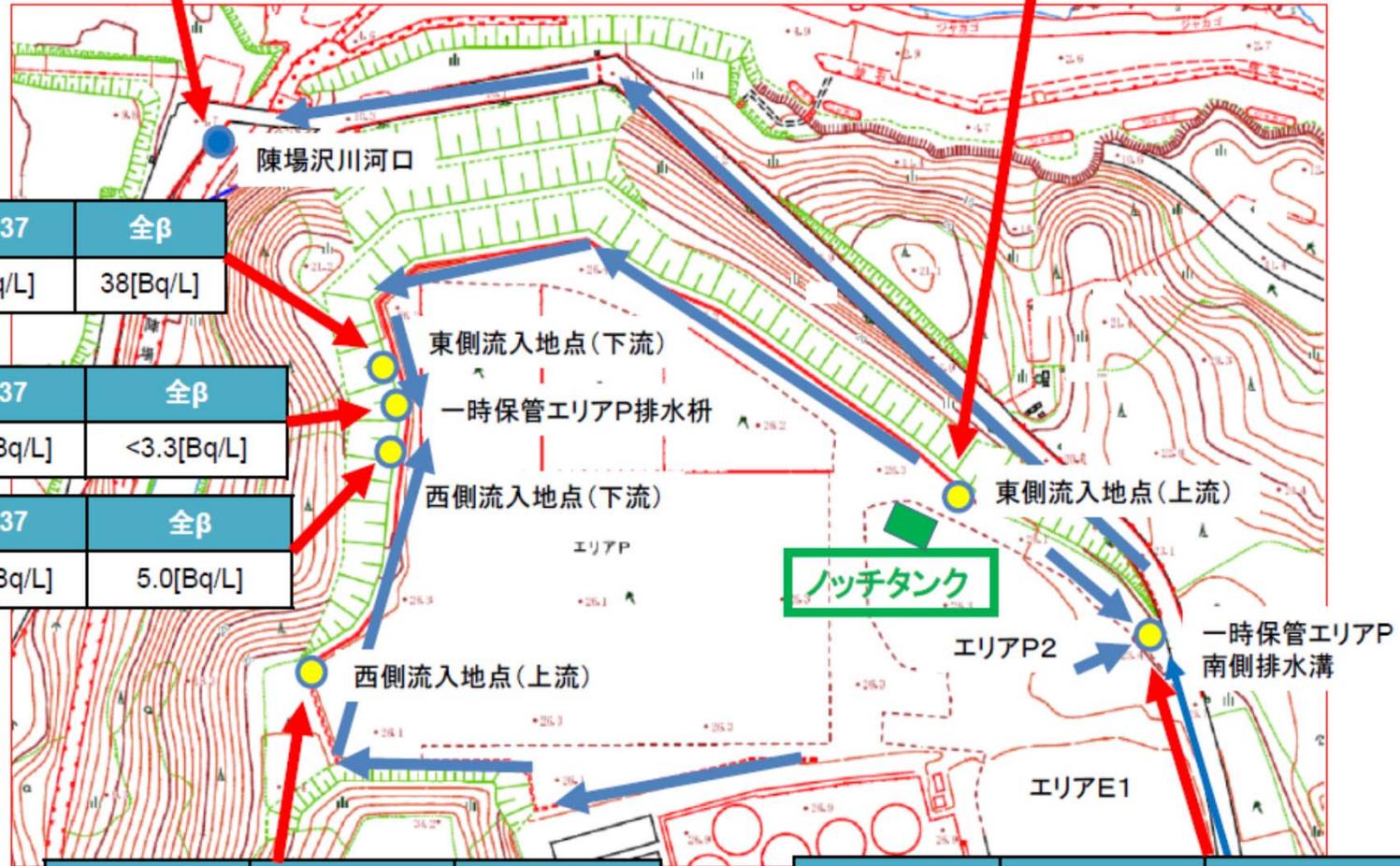
Cs-134	Cs-137	全β
<0.50[Bq/L]	<0.63[Bq/L]	<3.3[Bq/L]

Cs-134	Cs-137	全β
<0.79[Bq/L]	21[Bq/L]	320[Bq/L]

Cs-134	Cs-137	全β
0.80[Bq/L]	23[Bq/L]	38[Bq/L]

Cs-134	Cs-137	全β
<0.56[Bq/L]	<0.61[Bq/L]	<3.3[Bq/L]

Cs-134	Cs-137	全β
<0.75[Bq/L]	<0.72[Bq/L]	5.0[Bq/L]



水の流れ  
←

Cs-134	Cs-137	全β
<0.58[Bq/L]	19[Bq/L]	59[Bq/L]

Cs-134	Cs-137	全β
14[Bq/L]	370[Bq/L]	930[Bq/L]

## <参考> 一時保管エリアP周辺のサーベイ結果（速報）

- 一時保管エリアP周辺におけるサーベイを実施（7 / 6実施）
- 1cm線量当量率（ $\gamma$ ）に比べて、70 $\mu$ m線量当量率（ $\beta + \gamma$ ）が有意に高い箇所を確認

単位： $\mu$ Sv/h

地点	1cm線量当量率	70 $\mu$ m線量当量率
①	—	11
②	—	70
③	4	80
④	4	60
⑤	4	130
⑥	4	200
⑦	3	250
⑧	2	400
⑨	2	750
⑩	4	250
⑪	3	100
⑫	3	60
⑬	3	30

